

やさしく かしく たくましく(小)

明朗 自主 健康 根性(中)

いつも元気な諏訪之瀬っ子



# すわのせしあわせ学校便り

諏訪之瀬島小・中学校  
平成28年度 8月号

## 夏休みは自然体験と家族の絆を深める機会に！

校長 吉 永 久 志

朝早くからセミの合唱が聞こえてくる頃となりました。子どもたちは、7月21日から42日間の夏休みに入ります。子どもたちはどんな思いで夏休みを待っているのでしょうか。昭和40年代、私が少年時代を過ごした頃、子どもの遊び場は、もっぱら近くの広場や野山や川でした。山に入り、空気てっぼうづくりに夢中になったり、正月でもないのに毎日のようにカッター(カルタ)をしたり、数取り・陣取りで走り回ったり、学校のプールは遠かったので近くの川で泳いだり、魚を捕まえたりしました。山に探検と称して入り、帰りが遅くなって親からこっぴどく叱られたこともありました。

また、私が住んでいたのは、温泉の町だったので自宅にお風呂はなく、毎日温泉通いでした。夏は日も長く、夜道を歩きながら川のそばに来ると蛍が無数に飛び回っていました。時に、温泉帰りに買ってもらうアイスクリームが夏の暑さと温泉でほてった体を冷やしてくれて本当においしかったことを覚えています。

時代が変わり、子どもたちの生活環境も変わってきました。海や川に涼を求めなくても、家でクーラーにあたりながら、アイスクリームでも食べていた方がよっぽど涼しくて快適であるかもしれません。また、スポーツ少年団活動や習い事などで、夏休みといっても制約を受ける状況があるかもしれません。しかし、諏訪之瀬島には、自然体験ができる場所が多く残っています。私自身、6月初旬、普通に家の周りに蛍が飛んでいるのを見て、昔を懐かしく思い起こし、しばし感傷に浸りました。子どもの頃に、ぜひ、多くの自然体験や原体験をさせたい(諏訪之瀬島でも、帰省地等でも)ものです。

真夏の焼けつくような太陽の下で、汗をしたたらせながら、自然の中で多くの体験をして感動を味わってもらいたいと思います。子どもの頃の自然体験は、豊かな感受性や郷土愛を育み、自然環境を考えるきっかけを与え、生き方の指針にもなるにちがいありません。

また、夏休みは、家族と一緒に過ごす時間が長くなります。この機会に、親子や家族の会話を多くし、絆を深める機会にもしてほしいと思います。子どもたちが、夏休み中、たくさんの感動体験をして、視野を広げ心身ともにたくましくなって、2学期の始業式を迎えることができるよう期待します。

### 子育てのことば

「子どもの仕事 遊ぶ学べ食べる寝る 簡単そうで 難しい」  
～楽しい子育てキャンペーン3行詩優秀作品より～

## ☆諏訪之瀬っ子7月コレクション☆



7月もたくさんの行事がありました。子どもたちの輝く姿を紙面一杯に紹介できないのが悔しいくらいです。水泳教室では毎回のように保護者・里親さんそして地域の方に見守られ実施できました。星のつどいや弁論大会当日はもちろんですが、それまでのがんばった姿こそ褒めてくださいね。

平成28年度水難事故防止運動強調月間

★ 新着りをするときは

私の友人はこの世に居ません。

生きていれば45歳 彼は13歳の夏、天国に旅立ちました。自転車で横断中に車にはねられ亡くなりました。学級みんなでお別れをしました。大人になった今でも忘れることはありません。悲しい記憶です。

事故に遭わないように気をつけましょう。

自分の身は自分で守り、規則正しい生活をしましょうね。

## 9月の学校行事(予定)

1日(金) 始業式 地震・津波避難訓練⑤

\*いじめ問題を考える週間\*  
(9月1日～7日)

3日(土) PTA奉仕作業(雨天時は4日)

10日(土) 土曜授業 第4回トカウ集会

12日(月) 部活動等下校時刻変更  
小 18:00 中 18:15

17日(土) 第1回学校島民合同体育大会

26日(月) から部活動等下校時刻変更  
小 17:30 中 18:00

42日間の夏休みが始まります。

大きな事故やけが人が出ずに、1学期を終えられそうです。開校式で大きな声で歌う子どもたちに励まされ、教鞭にたったあの日から早くも75日経ちました。諏訪之瀬島の生活に今更ながらやっとなり、わたしたち教職員も島民の一人としてこれからも地域に貢献したいと考えます。なにより、信頼と安心感のある学校作りを10名と少数ではありますが、吉永校長のもとがんばって参ります。しばしの別れとなりますが、どうか事故なきようよろしくお願いいたします。9月17日(土)開校記念の第1回学校島民体育大会が開催されます。一緒に島内をジョギングしませんか？